

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ  
 コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 飯山 和人  
 (氏名) 安田 祐二

TEL 048-554-1151

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	93,698	△34.2	△4,161	—	△2,919	—	△4,496	—
21年3月期第2四半期	142,491	—	4,059	—	4,106	—	712	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△59.19	—
21年3月期第2四半期	9.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	164,563	87,819	45.0	974.44
21年3月期	162,562	87,228	46.0	984.38

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 74,026百万円 21年3月期 74,781百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	7.00	21.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有  
 平成22年3月期の期末及び合計の配当予想につきましては、未定です。

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△26.3	△5,800	—	△5,000	—	△9,000	—	△118.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	76,020,019株	21年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	52,162株	21年3月期	51,853株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	75,967,996株	21年3月期第2四半期	75,969,012株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対ドル、対ユーロをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。業績予想の前提となる仮定については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.平成22年3月期期末及び合計の配当予想につきましては、未定です。今後の事業環境及び業績等を見据え、総合的に勘案のうえ、決定次第速やかに開示する予定です。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成22年3月期第2四半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日までの6ヶ月間)の連結業績は、売上高につきましては、昨年秋から続く世界的な自動車需要の大幅な減少による減産及び為替換算の影響により、936億9千8百万円と前年同期に比べ、34.2%の減収となりました。

利益につきましては、主に減産の影響などにより、営業損失は41億6千1百万円(前年同期は営業利益40億5千9百万円)、経常損失は29億1千9百万円(前年同期は経常利益41億6百万円)、また、四半期純損失は、44億9千6百万円(前年同期は四半期純利益7億1千2百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①自動車用部品

中国における四輪車用部品の販売が増加したものの、総じて市場の冷え込みによる減産の影響を受け、四輪車用部品、二輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、自動車用部品事業の売上高は、888億7千8百万円(前年同期比36.6%減)となり、営業損失は、43億7千6百万円(前年同期は営業利益36億9千5百万円)となりました。

#### ②その他

その他の事業の売上高は、48億2千万円(前年同期比107.7%増)となり、営業利益は、2億1千4百万円(前年同期比41.1%減)となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (日本)

日本では、市場の冷え込みによる減産の影響を受け、二輪車用部品、四輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、507億4千8百万円(前年同期比30.4%減)となり、営業損失は、37億3千8百万円(前年同期は営業損失3億6千8百万円)となりました。

#### (北米)

北米市場の冷え込みによる減産の影響を受け、米国では、四輪車用部品、二輪車用ショックアブソーバの販売、また、カナダでは、四輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、208億5千5百万円(前年同期比43.3%減)となり、営業損失は、15億3千8百万円(前年同期は営業損失11億2千7百万円)となりました。

#### (欧州)

欧州市場の冷え込みによる減産の影響を受け、スペインでは、二輪車用ショックアブソーバの販売、また、イギリスでは、四輪車用部品の販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、38億1千9百万円(前年同期比67.8%減)となり、営業損失は、4億3千万円(前年同期は営業利益4億6千9百万円)となりました。

#### (東南アジア)

インドネシア、タイでは、市場の冷え込みによる減産の影響を受け、二輪車用ショックアブソーバ、四輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、114 億 6 千 3 百万円（前年同期比 36.1%減）となり、営業利益は、13 億 1 千 1 百万円（前年同期比 53.8%減）となりました。

（南米）

ブラジルでは、市場の冷え込みによる減産の影響を受け、二輪車用ショックアブソーバの販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、71 億 5 千 3 百万円（前年同期比 53.1%減）となり、営業損失は、5 億 6 千 7 百万円（前年同期は営業利益 15 億 5 百万円）となりました。

（その他の地域）

中国では、市場が好調に推移し、四輪車用部品の販売が増加し、増収となりました。インドでは、パワーステアリングの販売の増加により、増収となりました。

この結果、売上高は、127 億 5 千 3 百万円（前年同期比 16.5%増）となり、営業利益は、6 億 1 百万円（前年同期比 87.4%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### （1）資産、負債、純資産等の状況

平成 22 年 3 月期第 2 四半期末の連結総資産は、1,645 億 6 千 3 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 20 億 1 百万円増加しました。

流動資産は、為替換算により増加したものの、原材料及び貯蔵品の減少などにより、前連結会計年度末に比べ 17 億 8 百万円減少しました。

固定資産は、為替換算による増加などにより、前連結会計年度末に比べ 37 億 9 百万円の増加となりました。

負債は、為替換算及び長期借入による増加などにより、前連結会計年度末に比べ 14 億 9 百万円増加しました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、為替換算の影響に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ 5 億 9 千 1 百万円増加しました。

### （2）キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、有形固定資産の取得による支出はあったものの、長期借入れによる収入やたな卸資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、5 億 3 千万円増加し、57 億 3 千 7 百万円となりました。

当第 2 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、56 億 7 千 1 百万円であり、前年同期に比べ、46 億 9 千 1 百万円増加しました。これは主に税金等調整前四半期純損失、売上債権の増加となったものの、減価償却費の増加、たな卸資産の減少があったことなどによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、82 億 8 千 7 百万円であり、前年同期に比べ、60 億 9 百万円減少しました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、36 億 9 千 7 百万円であり、前年同期に比べ、7 億 7 千 5 百万円減少しました。これは主に長期借入れによる収入があったものの、短期借入金による収入が純減したことなどによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の連結業績の予想は、為替変動及び景気の下振れ懸念があるものの、日本におけるエコカー減税による自動車用部品の一部の販売が増加することや、中国及び東南アジアにおける売上の増加等が見込めることから、平成21年4月28日の決算発表時点の予想を変更しています。

しかしながら、当社グループの事業展開としましては、依然厳しい環境下におかれている認識のもと、引き続き業務の効率化及び徹底した経費削減等の諸施策を推進するとともに、最適な生産体制の構築のため、内外作の見直し、生産ラインの移管、フレキシブル化対応等の検討を具体的に進めてまいります。

為替レートは、通期平均で、1米ドル=94円、1ユーロ=128円を前提としています。

売上高	2,000億円	前期比	26.3%減
営業損失	58億円	前期比	—
経常損失	50億円	前期比	—
当期純損失	90億円	前期比	—

なお、当期の配当予想につきましては、第2四半期末、期末とも未定としておりましたが、第2四半期末の配当につきましては、平成21年10月30日開催の当社取締役会におきまして、現在の事業環境及び業績等を勘案のうえ、慎重に検討いたしました結果、見送らせていただくことを決議しました。

期末配当につきましては、引き続き未定とさせていただき、今後の事業環境及び業績等を見据え、総合的に勘案のうえ決定次第、速やかにお知らせさせていただきます。

また、本日、別途開示の「業績及び配当予想の修正に関するお知らせ」につきましてもご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社では、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しています。

##### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社は法人税等の算定に当たり、加減算項目や税額控除項目は重要なものに限定しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しています。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,179	14,705
受取手形及び売掛金	30,372	27,404
商品及び製品	4,288	3,986
仕掛品	4,293	4,545
原材料及び貯蔵品	16,325	18,272
その他	5,613	7,872
貸倒引当金	△138	△144
流動資産合計	74,934	76,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,329	14,233
機械装置及び運搬具(純額)	39,674	38,478
その他(純額)	17,059	21,308
有形固定資産合計	76,063	74,020
無形固定資産		
	837	904
投資その他の資産		
投資有価証券	9,823	8,336
その他	2,918	2,671
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	12,728	10,995
固定資産合計	89,629	85,919
資産合計	164,563	162,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,504	21,184
短期借入金	19,497	18,960
未払金及び未払費用	6,816	10,679
製品保証引当金	1,301	1,343
賞与引当金	2,476	2,389
役員賞与引当金	26	65
その他	2,557	2,870
流動負債合計	55,180	57,492
固定負債		
長期借入金	13,144	10,376
製品保証引当金	888	832
退職給付引当金	4,076	3,634
役員退職慰労引当金	362	391
その他	3,090	2,606
固定負債合計	21,563	17,841
負債合計	76,743	75,334

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	53,880	58,908
自己株式	△52	△52
株主資本合計	79,982	85,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,751	2,978
繰延ヘッジ損益	0	△43
為替換算調整勘定	△9,707	△13,163
評価・換算差額等合計	△5,956	△10,229
少数株主持分	13,793	12,446
純資産合計	87,819	87,228
負債純資産合計	164,563	162,562

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	142,491	93,698
売上原価	125,189	86,915
売上総利益	17,302	6,783
販売費及び一般管理費	13,242	10,944
営業利益又は営業損失(△)	4,059	△4,161
営業外収益		
受取利息	383	201
受取配当金	145	44
持分法による投資利益	152	122
為替差益	—	939
雇用調整助成金	—	164
その他	116	222
営業外収益合計	797	1,695
営業外費用		
支払利息	216	430
為替差損	484	—
その他	50	23
営業外費用合計	751	453
経常利益又は経常損失(△)	4,106	△2,919
特別利益		
固定資産売却益	12	5
特別利益合計	12	5
特別損失		
たな卸資産評価損	64	—
固定資産売却損	20	4
固定資産廃棄損	139	85
減損損失	66	116
製品保証引当金繰入額	82	—
特別損失合計	372	206
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,746	△3,120
法人税等	1,297	1,043
少数株主利益	1,736	332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	712	△4,496



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,746	△3,120
減価償却費	4,808	5,409
減損損失	66	116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	△10
製品保証引当金の増減額(△は減少)	13	△34
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36	△39
退職給付引当金の増減額(△は減少)	163	420
受取利息及び受取配当金	△529	△246
支払利息	216	430
為替差損益(△は益)	△78	△154
持分法による投資損益(△は益)	△152	△122
雇用調整助成金	—	△164
有形固定資産除売却損益(△は益)	147	84
売上債権の増減額(△は増加)	△3,707	△1,559
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,509	3,933
仕入債務の増減額(△は減少)	1,307	270
その他	187	1,275
小計	1,694	6,489
利息及び配当金の受取額	604	397
利息の支払額	△212	△416
雇用調整助成金の受取額	—	164
法人税等の支払額	△1,106	△965
営業活動によるキャッシュ・フロー	980	5,671
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,334	△408
定期預金の払戻による収入	1,430	230
有形固定資産の取得による支出	△14,418	△8,033
有形固定資産の売却による収入	41	11
投資有価証券の取得による支出	△1	△85
その他	△14	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,297	△8,287
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,411	44
長期借入れによる収入	2,694	5,000
長期借入金の返済による支出	—	△214
配当金の支払額	△1,063	△533
少数株主への配当金の支払額	△565	△589
その他	△4	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,472	3,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	335	△549
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,508	530
現金及び現金同等物の期首残高	21,436	5,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,927	5,737

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	自動車用 部品(百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	140,170	2,321	142,491	—	142,491
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	140,170	2,321	142,491	(—)	142,491
営業利益(又は営業損失)	3,695	364	4,059	(—)	4,059

(注) 1. 事業区分の方法

製品の販売先の使用目的に応じて、自動車用部品・その他(ボート用部品・産業用機器・事務機器用部品・製造機械設備等)にセグメンテーションしています。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品	
自動車用部品	四輪・二輪車用ショックアブソーバ、パワーステアリング、プロペラシャフト、ガススプリング、オートマチックトランスミッション部品、デフレンシャルギヤ、その他四輪・二輪車用駆動系部品	
その他	ボート用部品	船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
	産業用機器	各種油圧シリンダ
	事務機器用部品	ガススプリング
	製造機械設備等	製造機械設備

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	自動車用 部品(百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	88,878	4,820	93,698	—	93,698
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	88,878	4,820	93,698	(—)	93,698
営業利益(又は営業損失)	(4,376)	214	(4,161)	(—)	(4,161)

(注) 1. 事業区分の方法

製品の販売先の使用目的に応じて、自動車用部品・その他(ボート用部品・産業用機器・事務機器用部品・製造機械設備等・自動車販売等)にセグメンテーションしています。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品	
自動車用部品	四輪・二輪車用ショックアブソーバ、パワーステアリング、プロペラシャフト、ガススプリング、オートマチックトランスミッション部品、デフレンシャルギヤ、その他四輪・二輪車用駆動系部品	
その他	ボート用部品	船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
	産業用機器	各種油圧シリンダ
	事務機器用部品	ガススプリング
	製造機械設備等	製造機械設備
	自動車販売等	自動車販売、部品販売・修理、保険代理

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	東南 アジア (百万円)	南米 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	52,900	35,875	11,795	17,346	15,248	9,324	142,491	—	142,491
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	19,971	912	59	600	—	1,620	23,164	(23,164)	—
計	72,871	36,788	11,854	17,947	15,248	10,945	165,656	(23,164)	142,491
営業利益(又は営業損失)	(368)	(1,127)	469	2,840	1,505	321	3,641	418	4,059

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	東南 アジア (百万円)	南米 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	39,493	20,701	3,773	11,345	7,153	11,231	93,698	—	93,698
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,255	154	46	117	—	1,521	13,095	(13,095)	—
計	50,748	20,855	3,819	11,463	7,153	12,753	106,794	(13,095)	93,698
営業利益(又は営業損失)	(3,738)	(1,538)	(430)	1,311	(567)	601	(4,362)	200	(4,161)

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
- (2) 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米	アメリカ、カナダ
欧州	スペイン、イギリス
東南アジア	インドネシア、タイ
南米	ブラジル
その他の地域	中国、インド

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北 米	欧 州	東南アジア	南 米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	36,318	11,613	17,576	15,773	11,543	92,826
II 連結売上高 (百万円)						142,491
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	25.5	8.1	12.3	11.1	8.1	65.1

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北 米	欧 州	東南アジア	南 米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	20,897	4,874	11,740	7,026	12,804	57,343
II 連結売上高 (百万円)						93,698
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	22.3	5.2	12.5	7.5	13.7	61.2

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
  - (1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
  - (2) 各区分に属する主な国又は地域

北米	アメリカ、カナダ
欧州	スペイン、イギリス
東南アジア	インドネシア、タイ
南米	ブラジル
その他の地域	中国、その他アジア

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。